

アルミ処理専用 第3工場が稼働

東根・第一テクノス

表面処理の第一テクノス（東根市、阿部政俊社長）が本社敷地内に整備を進めてきたアルミニウムの処理専用となる第3工場が完成し、26日稼働した。対応能力を高めたラインを配置し、幅広い需要を取り込んでいく。

アルミを使用した産業用設備機器の市場拡大を見越して設備増強を図った。新工場は鉄骨平屋で延べ床面積は約1130平方メートル。約2億7千万円を投資して整

アルミニウムの処理専用となる第3工場が稼働した。東根市・第一テクノス



で、設備としては東北最大級になるといふ。

阿部社長は「アルミは軽量で価格も抑制できるため、部品への使用頻度が高まっている。対応能力を高めたことで、取引の幅を広げていきたい」と話した。

（須藤仁）

備した。設備の大型化を図り、対応できる製品サイズの幅を広げている。

この日は、アルミに酸化皮膜を施すことで強度を高め、腐食を防ぐためのアル

マイト処理のラインが稼働。来年1月末には、電気を流す代わりに触媒液を使ってニッケルで表面を覆うアルミ無電解ニッケルめっきのラインも稼働する予定